

ルカ

子= 1 4 5 回出てくる、全ての人々の為に来られたイエス

鍵句=19:10 人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」

女、不具者、異邦人にむけてかかれた

美しく難しい文体

1:3 私も、すべてのことを初めから綿密に調べていますから、尊敬する **テオフィロ** **イロ**様、あなたのために、順序立てて書いて差し上げるのがよいと思います。

@テオフィロ=神の友、神の愛の意味

1:5 ユダヤの王ヘロデの時代に、**アビヤの組**の者でザカリヤという名の祭司がいた。彼の妻はアロンの子孫で、名をエリサベツといった。

1:17 彼はエリヤの霊と力で、主に先立って歩みます。父たちの心を子どもたちに向けさせ、不従順な者たちを義人の思いに立ち返らせて、主のために、整えられた民を用意します。」

1:26 さて、その六か月目に、**御使いガブリエル**が神から遣わされて、ガリラヤのナザレという町の一人の処女のところに来た。

1:29 しかし、マリアはこの**ことば**にひどく戸惑って、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。

ことば=レーマ

1:32 その子は大いなる者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また神である主は、彼にその**父ダビデの王位**をお与えになります。

第2サムエル 7:12 あなたの日数が満ち、あなたが先祖とともに眠りにつくとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子をあなたの後に起こし、彼の王国を確立させる。

1:34 マリアは御使いに言った。「どうしてそのようなことが起こるのでしょうか。私は男の人を知らないのに。」 @

知る = ◀ 1097. ginóskó ▶ (ギ) ギノスコ = 深く知る

ヘブライ語では「知る」は性行為を表す。◀ 3045.(ידע) yada 942 回▶

知る 性行為をする

1:37 神にとって不可能な こと は何もありません。」

ことは 何も = (英) every thing。Thing = 事 ◀ 4487. rhéma 70 回 ▶ 言葉、語られた言葉、事柄

マタイ 19:26 イエスは彼らをじっと見つめて言われた。「それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。」

1:41 エリサベツがマリアのあいさつを聞いたとき、子が胎内で躍り、エリサベツは 聖霊に満たされた。

@ 聖霊に満たされた時に啓示を受けた、聖霊の満たしの機能の一つは真理の啓示

1:42 そして大声で叫んだ。「あなたは女の中で最も祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。」

1:45 主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」。

1:46 マリアは言った。「私のたましいは主をあがめ、

あがめ=◀ 3170. megalunó (メガルノ) 8回▶偉大にする、偉大だと宣言する、あがめる、大きくする、賛美する

@信仰があったので口を開いた

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

たたえます=◀ 21. agalliaó (アガリアオ) 11回▶歡喜にあふれて喜ぶ

マタ 5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

ヨハ 5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で大いに喜ぼうとしました。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだので

す。」

使 2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

使 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

第1 ペテ 1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならないのですが、

第1 ペテ 1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

第1 ペテ 4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

黙 19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。

1:52 権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。低いもの=◀ 5011. tapeinos(タパイナス)8回▶(A) へりくだった、身分の低い、おとなしい(2 コリ 10:1)

1:58 近所の人たちや親族は、主がエリサベツに大きなあわれみをかけてくださったことを聞いて、彼女とともに喜んだ。

大きな=◀ 3170. megalunó (メガルノ) 8回▶偉大にする、偉大だと宣言する、大きくする、賛美する

1:76 幼子よ、あなたこそいと高き方の預言者と呼ばれる。主の御前を先立って行き、その道を備え、

@この箇所では新世界訳では主をエホバと訳しているがそれはまちがい

1:78 これは私たちの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、曙の光が、いと高き所から私たちに訪れ、

1:79 暗闇と死の陰に住んでいた者たちを照らし、私たちの足を平和の道に導く。」

1:80 幼子は成長し、その霊は強くなり、イスラエルの民の前に公に現れる日まで荒野にいた。

@主が大きく用いる前に荒野を通る

@イエスの場合= ルカ 2:40 幼子は成長し、知恵に満ちてたくましくなり、神の恵みがある上にあつた。

2:4 ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であつたので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上つて行つた。

家=◀ 3624. oikos (オイカス) 114回▶(N) 家、建物、住む場所、家族

血筋=

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、

ガラテア 4:4 しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。

2:7 男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。

寝かせた = ◀ 347. anaklinó (アナクリノ) 6回 ▶ 横たえる、寝転がる。食卓に着く(改4) マタ 8:11、ルカ 12:37、13:29)

@この「寝かせた」は食卓に着くという意味でも用いられるものですが、12節、16節では「置く」という意味のカイマイが用いられている。

このカイマイは黙示録で「～である」と訳された言葉

黙 21:16 都は四角形で、長さと同幅は同じである(2749)。御使いが都をその竿で測ると、一万二千スタディオンあった。長さも幅も高さも同じである。

ルカ 2:12 あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つめます。それが、あなたがたのためのしるしです。」

◀ 2749. keimai (カイマイ) 24回 ▶ 置く、

2:13 すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。

賛美した = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8回 ▶ 賛美する

2:14 「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」

(エターナル TR) 地上には平和が、人々のうちには、よしとされる思いがあるように。

みこころ = ◀ 2107. eudokia (ユダキア) 9回 ▶ (N)よろこばしいこと、親切な意図、喜び、善、願い

ルカ 2:16 そして急いで行って、マリアとヨセフと、飼葉桶に寝ている(2749)みどりごを捜し当てた。

◀ 2749. keimai (カイマイ) 24回 ▶ 置く、

2:19 しかしマリアは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。

ルカ 2:13 すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。

賛美した = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8回 ▶ 賛美する

2:20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。(賛美は ◀ 134. aineó (アイネオ) 8回 ▶ 賛美する)

あがめる = ◀ 1392. doxazó (ドクサヅ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

賛美しながら = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8回 ▶ 賛美する

2:25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の上

におられた。

慰められる = ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め(1 コリ 12:8)

(V) ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける、勧める、助言する、奨励する、慰める、励ます

(N) ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回 ▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め(1 コリ 12:8)

(N) ◀ 3875. Paraklétos (パラクレイタス) 5 回 ▶ 傍らに呼ばれた者、仲裁者、慰める人、助け手

@ (ギ)パラカレオ パラ=分けてある カレオ=to call somebody 誰かを呼んで分ける

◀ 3844. Para (パラ) 194 回 ▶ Definition: from beside, by the side of, by, beside

多くは、by, of, from, along, beside, with, among, などと訳される。

◀ 2564. kaleó (カレオ) 148 回 ▶ Definition: to call Usage: (a) I call, summon, invite, (b) I call, name.

2:25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の 上におられた。

@シメオン=キリストを待ち望むイスラエルの象徴

@聖霊が彼の上に=内に宿っているのではない

@シメオンをヘブライ語読みでは「シモン」

2:36 また、アシェル族のペヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。こ

の人は非常に年をとっていた。処女の時代の後、七年間夫とともに暮らしたが、

2:37 やもめとなり、八十四歳になっていた。彼女は宮を離れず、断食と祈りをもって、夜も昼も神に仕えていた。

祈り = ◀ 1162. deésis (デイセス) 18 回 ▶ (N)祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要

@ 1、いつも宮にいる 2、1日中 3、断食と祈り 4、仕えている

2:38 ちょうどそのとき彼女も近寄って来て、神に感謝をささげ、エルサレムの贖いを待ち望んでいたすべての人に、この幼子のことを語った。

2:40 幼子は成長し、知恵に満ちてたくましくなり、神の恵みがある上にあつた。

2:43 そして祭りの期間を過ごしてから帰路についたが、少年イエスはエルサレムにとどまっておられた。両親はそれに気づかずに、

@イエスは他にも兄弟がいた証拠。もし一人しか子供がいなかったら丸1日自分の子供がいないう事に気がつかないはずが無い。

2:52 イエスは神と人とにいつくしまれ、知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。

@子供を教育する4つの領域

1、知的な成長 2、肉体的な成長 3、霊的な成長 4、社会性
2の分野には健全な性を教える事も含まれている

3:6 こうして、すべての者が神の救いを見る。』

者= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

3:7 ヨハネは、彼からバプテスマを受けようとして出て来た群衆に言った。
「まむしの子孫たち。だれが、迫り来る怒りを逃れるようにと教えたのか。」

@ ヨハネはこの言葉をバプテスマを受けようとした人(へりくだっているつもりの人) に浴びせた

3:9 斧もすでに木の根元に置かれています。だから、良い実を結ばない木はすべて切り倒されて、火に投げ込まれます。」

@ 枝ではなく根元に

3:14 兵士たちもヨハネに尋ねた。「この私たちはどうすればよいのでしょうか。」ヨハネは言った。「だれからも、金を力づくで奪ったり脅し取ったりしてはいけません。自分の給料で満足しなさい。」

3:16 そこでヨハネは皆に向かって言った。「私は水であなたがたにバプテスマを授けています。しかし、私よりも力のある方が来られます。私はその方の履き物のひもを解く資格もありません。その方は聖霊と火で、あなたがたにバプテスマを授けられます。」

ルカ 3:23 イエスは、働きを始められたとき、およそ三十歳で、ヨセフの子と考えられていた。ヨセフはエリの子で、さかのぼると、

@ ((改2)の注釈) ヘリの子*イエスの母マリヤの父、ヨセフの義父。「エリ」とも読む。

@ これはマリヤの父の系図である。異邦人向けなのでアダムまで書かれてある。

3:31 メレア、メンナ、マタタ、ナタン、ダビデ、

@ナタン=つまりソロモンではない、ここから血統が分かれている。

3:33 アミナダブ、アデミン、アルニ、ヘツロン、ペレツ、ユダ、

アデミンはマタイに無い。 アルニ=アラム。

3:38 エノシュ、セツ、アダム、そして神に至る。

@アダム、そして神に至る。=(改2) 3:38 このアダムは神の子である。

@この文脈によればアダム以外は神の子ではない

4:1 さて、イエスは聖霊に満ちてヨルダンから帰られた。そして御霊によつ
て荒野に導かれ、

@イエス、ピリポ、イスラエルの民は聖霊に導かれて荒野に行った。

4:4 イエスは悪魔に答えられた。「『人はパンだけで生きるのではない』※と書いてある。」

※に挿入「神のあらゆる言葉」(TR)(Bible Hub) **panti rhemati**

あらゆる=◀ 3956. pas ▶すべての、あらゆる

(マタイ 4:4 は「ひとつひとつのことば」としてある)

ルカ 4:7 だから、もしあなたが私の前にひれ伏すなら、すべてがあなたのものとなる。」

ルカ 4:8 イエスは悪魔に答えられた。「『あなたの神である主を礼拝しなさ

い。主にのみ仕えなさい』と書いてある。」

ひれ伏す、礼拝する = (どちらも) ◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60 回
▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、
ひざまづく、礼拝する

4:13 悪魔はあらゆる試みを終わると、しばらくの間イエスから **離れた**。

@離れた = 断食によって誘惑に打ち勝った結果

4:14 イエスは御霊の **力を帯びて** ガリラヤに帰られた。すると、その評判が周辺
一帯に広まった。

@御霊の力を帯びて = 断食により誘惑に打ち勝った結果

4:15 イエスは彼らの **※会堂** で教え、すべての人に称賛された。

会堂 = ◀ 4864. sunagógé ▶

synagōgais = (複数形) 正しい訳は「諸会堂で教え、すべての人に賞賛された」

@信認があった (朗読が上手だと評判になった。) ので、次から次へと会堂が
彼を招いた。

スクロールの御言葉を朗読するのは至難の業だった。

@彼は地域のコミュニティーの一員であり信認が篤かった。

彼は特別な神学教育を受けてはいなかったが、評判の人だった。

称賛する = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2 回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほ
めたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

4:16 それからイエスはご自分が育ったナザレに行き、いつもしているとおり
安息日に会堂に入り、朗読しようとして立たれた。

4:17 すると、預言者イザヤの書が手渡されたので、その巻物を開いて、こう書いてある箇所を目を留められた。

@ 当時一般の信徒が順番に御言葉の朗読をしていた。

4:18 「主の霊がわたしの上にある。貧しい人に良い知らせを伝えるため、主はわたしに油を注ぎ、わたしを遣わされた。(※) 捕らわれ人には解放を、目の見えない人には目の開かれることを告げ、虐げられている人を自由の身とし、

※ (TR) 「心の傷ついたものを癒し」が入る

癒やす = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回 ▶ (肉体を) 癒す (救いという意味はない)

(TR 訳)4:18 「主の霊がわたしの上にある。私に油を注いだ。なぜならば、貧しい人に良い知らせを伝えるために私を遣わされた。心の傷ついたものを癒すため、とらわれ人を解放し、目の見えない者の目を開き、虐げられている人を自由の身とする、

4:19 主の恵みの年を告げるために。」

恵み = ◀ 1184. dektos 5回 ▶ 歓迎される、受け入れられる、恵み

恩寵としての恵み ◀ 5485. charis 157回 ▶ ではない

@ 用例

ルカ 4:24 預言者はだれも、自分の郷里では歓迎されません。

使徒 10:35 どここの国の人であっても、神を恐れ、正義を行う人は、神に受け入れられます。

第2コリ 6:2 神は言われます。「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日に、あなたを助ける。」見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。

ピリ 4:18 私はすべての物を受けて、満ちあふれています。エパフロディトからあなたがたの贈り物を受け取って、満ち足りています。それは芳ばしい香りであって、神が喜んで受けてくださるささげ物です。

恵みの年=@恵みの年=ヨベル (レビ 25 : 16)

4:21 イエスは人々に向かって話し始められた。「あなたがたが耳にしたとおり、今日、この聖書のことばが実現しました。」

4:23 そこでイエスは彼らに言われた。「きっとあなたがたは、『医者よ、自分を治せ』ということわざを引いて、『カペナウムで行われたと聞いていることを、あなたの郷里のここでもしてくれ』と言うでしょう。」

治せ=◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回▶癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

4:24 そしてこう言われた。「まことに、あなたがたに言います。預言者はだれも、自分の郷里では歓迎されません。

@まことに=◀ 281. amén 143 回▶

4:25 まことに、あなたがたに言います。エリヤの時代に、イスラエルに多くのやもめがいました。三年六か月の間、天が閉じられ、大飢饉が全地に起こったとき、

@まことに=◀ 225. alétheia 109 回▶

(改 2)4:25 わたしが言うのは真実のことです。エリヤの時代に、三年六か月の間天が閉じて、全国に大ききんが起こったとき、イスラエルにもやもめは多くいたが、

4:27 また、預言者エリシャのときには、イスラエルにはツアラアトに冒された人が多くいましたが、その中のだれもきよめられることはなく、シリア人ナアマンだけがきよめられました。」

@ 2列王記5：1－14の記述（注釈にある）

4:33 その会堂に、汚れた悪霊につかれた人がいた。彼は大声で叫んだ。

4:35 イエスは彼を叱って、「黙れ。この人から出て行け」と言われた。すると悪霊は、その人を人々の真ん中に投げ倒し、何の害も与えることなくその人から出て行った。

4:40

癒やす= ◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

5:4 話が終わるとシモンに言われた。「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい。」

@話が終わると、言われた=メッセージの後で実践に入った。

5:8 これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して言った。「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」

@見た=しるしを見た。神のみ業は私達を悔い改めに導く

5:12 さて、イエスがある町におられたとき、見よ、全身ツアラアトに冒された人がいた。その人はイエスを見ると、ひれ伏してお願いした。「主よ、お心

一つで私をきよくすることがおできになります。」

お願いした=◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回▶ 祈る、お願いする、懇願する
懇願する=IIコリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

お心一つで=◀ 2309. theló 209 回▶ Definition: to will, wish

Usage: I will, wish, desire, am willing, intend,

design.

@用法

マタ 1:19 夫のヨセフは正しい人で、マリアをさらし者にしたくなかったので、ひそかに離縁しようと思った。

マタ 2:18 「ラマで声が聞こえる。むせび泣きと嘆きが。ラケルが泣いている。その子らのゆえに。慰め (られることを) を拒んでいる。子らがもういないからだ。」

マタ 5:40 あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着も取らせなさい。

5:15

癒やす=◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

5:16 だが、イエスご自身は寂しいところに退いて祈っておられた。

5:17

癒す=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回▶ 癒す 肉体の癒し

5:25 すると彼はすぐに人々の前で立ち上がり、寝ていた(2621)床を担ぎ、神をあがめながら自分の家に帰って行った。

寝ていた＝◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回▶(大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

@@↓寝ると、食卓に着くが同じ単語

あがめる＝◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

5:26 人々はみな非常に驚き、神をあがめた。また、恐れに満たされて言った。「私たちは今日、驚くべきことを見た。」

あがめる＝◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

5:29 それからレビは、自分の家でイエスのために盛大なもてなしをした。取税人たちやほかの人たちが大勢、ともに食卓に着いていた(2621)。

食卓に着いていた＝◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回▶(大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

5:31 そこでイエスは彼らに答えられた。「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人です。

5:32 わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためです。」

5:33 また彼らはイエスに言った。「ヨハネの弟子たちはよく断食をし、祈りをしています。パリサイ人の弟子たちも同じです。ところが、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりしています。」

祈り = ◀ 1162. deésis (デイセス) 18回 ▶ (N)祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要、

5:34 イエスは彼らに言われた。「花婿と一緒にいるのに、花婿に付き添う友人たちに断食させることが、あなたがたにできますか。

5:35 しかし、やがて時が来て、花婿が取り去られたら、その日には彼らは断食します。」

5:36 イエスはまた一つのたとえを彼らに話された。「だれも、新しい衣から布切れを引き裂いて、古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんなことをすれば、その新しい衣を裂くことになり、新しい衣から取った布切れも古い衣には合いません。

5:37 まただれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはしません。そんなことをすれば、新しいぶどう酒は皮袋を裂き、ぶどう酒が流れ出て、皮袋もだめになります。

5:38 新しいぶどう酒は、新しい皮袋に入れなければなりません。

5:39 まただれも、古いぶどう酒を飲んでから、新しい物を望みはしません。『古い物が良い』と言います。」。

6:1 ある安息日に、イエスが麦畑を通っておられたときのことである。弟子たちは穂を摘んで、手でもみながら食べていた。

@弟子はイエスの前で緊張していない

6:7 律法学者たちやパリサイ人たちは、イエスが安息日に癒やしを行うかどうか、じっと見つめていた。彼を訴える口実を見つけるためであった。

癒やす = ◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

ルカ 6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。

祈る = ◀ 4336. proseuchomai (プラスウハマイ) 86 回▶ (V) 祈る (祈りを意味する一般的な言葉)

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ) 37 回▶ (N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

ながら夜を明かされた = ◀ 1273. dianuktereúo (ディアヌクテルーオ) 1 回▶ 夜を過ごす

祈りながら夜を明かされた = 祈りの中で夜を過ごされた。

6:13 そして、夜が明けると弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をお与えになった。

6:14 すなわち、ペテロという名を与えられたシモンとその兄弟アンデレ、そしてヤコブ、ヨハネ、ピリポ、バルトロマイ、

6:15 マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、熱心党员と呼ばれていたシモン、

6:16 ヤコブの子ユダ、イスカリオテのユダで、このユダが裏切る者となった。

6:18 彼らはイエスの教えを聞くため、また病気を治してもらおうために来ていた。汚れた霊に悩まされていた人たちも癒やしてもらっていた。

治してもらおう = 癒す = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回▶ 癒す 肉体の癒し
癒やしてもらって = ◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える (Acts 17:25)

6:19

癒す = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回 ▶ 癒す 肉体の癒し

6:24 しかし、富んでいるあなたがたは哀れです。あなたがたは慰めをすでに受けているからです。

@この場面(山上の垂訓)で富に対する記述はルカのみ

6:27

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

ルカ 6:32 自分を愛してくれる者たちを愛したとしても、あなたがたにどんな恵みがあるでしょうか。罪人たちでも、自分を愛してくれる者たちを愛しています。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

6:35

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

ルカ 6:38 与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられます。詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして、気前良く量って懐に入れてもらえます。あなたがたが量るその秤で、あなたがたも量り返してもらえますからです。」

@マタイ 7 : 7

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも 十分に訓練を受ければ、自分の師のようにはなります。

= ◀ 2675. Katartizó (カタルチゾ) 1 3回 ▶ 完全にする、準備する、
一つに合わせる

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼバダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を繕っていた。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

IIコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。完全になりなさい。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Iテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを補うことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。

「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを備えてくださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを整え、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

7:1 イエスは、耳を傾けている人々にこれらのことばをすべて話し終わると、カペナウムに入られた。

@信仰の人 = (1、あわれみの人 2、与える人 3、謙遜な人)

6:48 その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せても、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。

@みことばは掘り下げられなければならない。

7:5 私たちの国民を愛し、私たちのために自ら会堂を建ててくれました。」
愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

7:7 ですから、私自身があなた様のもとに伺うのも、ふさわしいとは思いませんでした。ただ、おことばを下さい。そうして私のしもべを癒やしてください。

癒やして＝◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶癒す 肉体の癒し

7:9 イエスはこれを聞いて驚き、振り向いて、ついて来ていた群衆に言われた。「あなたがたに言いますが、わたしはイスラエルのうちでも、これほどの信仰を見たことはありません。」

@驚かれ＝聖書の中の主が驚かれたかす少ない記述の一つ。

@不信仰 (マルコ 6 : 5)

@とりなすものがないので驚いた (イザヤ 59 : 16)

7:11 それから間もなく、イエスはナインという町に行かれた。弟子たちと大勢の群衆も一緒に行った。

7:12 イエスが町の門に近づかれると、見よ、ある母親の一人息子が、死んで担ぎ出されるところであった。その母親はやもめで、その町の人々が大勢、彼女に付き添っていた。

@大ぜいの人の群れ＝喜びの群れ @町の人たちが大ぜい＝悲しみの群れ

7:15 すると、その死人が起き上がって、ものを言い始めた。イエスは彼を母親に返された。

7:16 人々はみな恐れを抱き、「偉大な預言者が私たちのうちに現れた」とか、「神がご自分の民を顧みてくださった」と言って、神をあがめた。

あがめる＝◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 62回▶栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

7:21

癒やす＝◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43回▶癒す、とり扱う、治療する、仕

える(Acts17:25)

7:37 すると見よ。その町に一人の罪深い女一人の罪深い女がいて、イエスがパリサイ人の家で食卓に着いておられる(2621)ことを知り、香油の入った石膏の壺を持って来た。

ひとりの罪深い女 = (TR) 罪深いことで知られている一人の女

@この世のプレッシャーVS霊的な礼拝(ロマ12:1)

@スキャンダラスな売春婦の愛の表現

食卓に着いておられる = ◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回▶ (大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

7:38 そしてうしろからイエスの足もとに近寄り、泣きながらイエスの足を涙でぬらし始め、髪の毛でぬぐい、その足に口づけして香油を塗った。

うしろからイエスの足もとに近寄り = (改2) イエスのうしろで御足のそばに立ち

(ギ) からの翻訳としては(改2)のほうが正しい、ただし状況描写は(改4)が正しい

(NAS) and standing behind Him at His feet, weeping,

(KJV) And stood at his feet behind him weeping,

7:39 イエスを招いたパリサイ人はこれを見て、「この人がもし預言者だったら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか知っているはずだ。この女は罪深いだから」と心の中で思っていた。

7:42 彼らは返すことができなかったので、金貸しは二人とも借金を帳消しに

してやった。それでは、二人のうちのどちらが、金貸しをより多く愛するようになるでしょうか。」

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

7:47 ですから、わたしはあなたに言います。この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。赦されることの少ない者は、愛することも少ないのです。」

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

7:48 そして彼女に、「あなたの罪は赦されています」と言われた。

7:49 すると、ともに食卓に着いていた(4873)人たちは、自分たちの間で言い始めた。「罪を赦すことさえするこの人は、いったいだれなのか。」

食卓に着いていた = ◀ 4873. sunanakeimai (スナナケイマイ) 7回 ▶ 食卓に着く、列席する(マタ 14:9)

7:50 イエスは彼女に言われた。「あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」

ルカ 8:2 また、悪霊や病気を治してもらった女たち、すなわち、七つの悪霊を追い出してもらったマグダラの女と呼ばれるマリア、

治してもらった = ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

マグダラ=塔の意味

8:22 ある日のことであった。イエスは弟子たちと一緒に舟に乗り、「湖の向こう岸へ渡ろう」と言われたので、弟子たちは舟を出した。

渡ろう = ◀ 1330. dierchomai (ディエ・ハマイ) 44 回 ▶ ~を通る、渡る

さまよう (マタイ 12:43) (用例：悪霊が水のない場所を求める

通る(マタイ 19:24)(用例：針の穴)

行く (ルカ 2:15) (用例：羊飼いがベツレヘムを通じて、主の御業を見届ける)

渡る (ルカ 8:22) (用例：ガリラヤ湖の別の側に行く)

× (根拠不明) launch out(着手する・新しいことをするという意味もある) (英)

8:27 イエスが陸に上がられると、この町の者で悪霊につかれている男がイエスに出会った。彼は、長い間着物も着けず、家には住まないで、墓場に住んでいた。

@この町の者=かつてこの町にいた

8:28 彼はイエスを見ると叫び声をあげ、御前にひれ伏して大声で言った。「いと高き神の子イエスよ、私とあなたに何の関係があるのですか。お願いします。私を苦しめないでください。」

お願いします = ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回 ▶ 祈る、お願いする、懇願する

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいと **しきりに願っ**

た。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

II コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変

な熱意をもって私たちに懇願しました。

8:31 悪霊どもはイエスに、底知れぬ所に行けと自分たちにお命じにならないようにと懇願した。

@底知れぬ所=よみ

8:32 ちょうど、そのあたりの山に、たくさんの豚の群れが飼われていたので、悪霊どもは、その豚に入ることを許してくださいと懇願した。イエスはそれを許された。

@ (2017年版初版訂正分) 意味不明ルカの福音書 8 32 本文
「豚」についている* 「その豚」に移動、

8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

しきりに願った=◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回▶ 祈る、お願いする、懇願する

懇願する=Ⅱコリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

8:43 そこに、十二年の間、長血をわずらい、医者たちに財産すべてを費やしたのに、だれにも治してもらえなかった女の人があった。

治して=◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

8:47 彼女は隠しきれないと知って、震えながら進み出て御前にひれ伏し、イエスにさわった理由と、ただちに癒やされた次第を、すべての民の前で話した。

癒された=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回▶ 癒す 肉体の癒し

8:48 イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」

救った=(改2)直した

救った=◀ 4982. sózó 108 回▶ 救う、癒す、保存する、救助する。

9:1 イエスは十二人を呼び集めて、すべての悪霊を制して病気を癒やす力と權威を、彼らにお授けになった。

癒やす=(改2)直す

癒やす=◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

@ (マタイ 10 : 1) イエスは十二弟子を

@すべての悪霊、病気（複数形）に対する權威

9:2 そして、神の国を宣べ伝え、病人を治すために、こう言って彼らを遣わされた。

治すために=(改2)直す

治すために=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回▶ 癒す 肉体の癒し

遣わされた=◀ 649. apostelló (アポステロ) 133 回▶ 遣わす、送る、

@遣わされた=使徒 (マタイ 10:2) さて、十二使徒の名は次のとおりである。

9:3 「旅には何も持って行かない

9:6 十二人は出て行って、村から村へと巡りながら、いたるところで福音を宣べ伝え、癒やしを行った。

癒す= ◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

9:10 さて、使徒たちは帰って来て、自分たちがしたことをすべて報告した。それからイエスは彼らを連れて、ベツサイダという町へひそかに退かれた。

@報告することの大切さ

退かれた= ◀ 5298. hupochóreo (ウパホレオ) 2 回 ▶ Definition: to go back, retire
Usage: I withdraw, retire,
go back, retreat.

9:11 ところが、それを知った群衆がイエスの後について来た。イエスは彼らを喜んで迎え、神の国のことを話し、また、癒やしを必要とする人たちを治された。

癒し= ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回 ▶ 癒す 肉体の癒し

@忙しい中でも喜んで迎える

9 : 12 ~ 17 五千人のお弁当

ルカ 9:23 イエスは皆に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。

1、自分を捨て 2、十字架を負い 3、ついていく

@ほかの福音書（マタ 10:39, 16:24）にもこのみ言葉がありますが、ルカだけが「日々」という言葉が入っています。

9:32 ペテロと仲間たちは眠くてたまらなかったが、はっきり目が覚めると、イエスの栄光と、イエスと一緒に立っている二人の人が見えた。

眠くて= ◀ 5258. hupnos (フプナス) 6回 ▶ 睡眠（深い眠り）

hupnos (フプナス)が使われている箇所

マタ 1:24 ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れたが、

ルカ 9:32 ペテロと仲間たちは眠くてたまらなかったが、はっきり目が覚めると、イエスの栄光と、イエスと一緒に立っている二人の人が見えた。

ヨハ 11:13 イエスは、ラザロの死のことを言われたのだが、彼らは睡眠の意味での眠りを言われたものと思ったのである。

使 20:9 ユテコという名の一人の青年が、窓のところに腰掛けていたが、パウロの話が長く続くので、ひどく眠気がさし、とうとう眠り込んで三階から下に落ちてしまった。抱き起こしてみると、もう死んでいた。

ロマ 13:11 さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。

9:38 すると見よ、群衆の中から、一人の人が叫んで言った。「先生、お願いします。息子を見てやってください。私の一人息子です。

お願いします=◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回▶ 祈る、お願いする、懇願する

9:40 あなたのお弟子たちに、霊を追い出してくださいとお願いしたのですが、できませんでした。」

お願いした=◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回▶ 祈る、お願いする、懇願する

9:42 その子が来る途中でも、悪霊は彼を倒して引きつけを起こさせた。しかし、イエスは汚れた霊を叱り、その子を癒やして父親に渡された。

癒して=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回▶ 癒す 肉体の癒し

9:50 しかし、イエスは彼に言われた。「やめさせてはいけません。あなたがたに反対しない人は、あなたがたの味方です。」

9:54 弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。「主よ。私たちが天から火を下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。」

@ヨハネ=後に愛の使徒と呼ばれた (1ヨハ4章)

かつては受け入れられないだけで火、後に打ち叩かれても (使徒5:41) 喜んだ

@ (異) エリヤがしたように (を加える)

(TR) (改2の欄外)(KJV) 9:54と55の間に挿入

そして彼は言われた。「あなた方は自分たちがどのような霊のものかわかいてません。」「なぜならば、人の子は人々のたましいを滅ぼすために来たのではな

く、救うために来たのだからです。」

9:59 イエスは別の人に、「わたしに従って来なさい」と言われた。しかし、その人は言った。「まず行って、父を葬ることをお許してください。」

@キリストの時代の前後 100 年ほどの期間に 2 度埋葬する習慣がありました。
杉本智俊

慶應義塾大学文学部教授、新生キリスト教会連合（宗）町田クリスチャン・センター牧師([http:// www.mccjapan.org/](http://www.mccjapan.org/))

当時のユダヤ社会では、墓に一年ほど遺体を安置し、骨だけになるのを待ち、その骨を「オシュアリ」という骨箱に入れる「再埋葬」—二回にわたる埋葬形式が一般的でした。骨を保つのは、“復活信仰”とかわりがあります。復活を信じる彼らは、骨がないと復活できないと考えていたのです。

また、遊牧民としての習慣でもあります。夏と冬で別の場所で暮らす人たちは、その場で遺体を葬り、のちに骨だけを回収して、家族の墓に「再埋葬」したのです。

9:62 すると、イエスは彼に言われた。「鋤に手をかけてからうしろを見る者はだれも、神の国にふさわしくありません。」

10:1 その後、主は別に 七十二人 を指名して、ご自分が行くつもりすべての町や場所に、先に二人ずつ遣わされた。

七十二人＝ (改 2)(TR)(KJV)(NAS) 70 人、(NIV)(ESV) 72 人

七十二人＝ ◀ 1440. hebdomékonta (ヘブダメカンタ)5 回 ▶ (HUB)(BLB) 「70」の意味

(Hub)では「hebdomékonta duo」とあるので翻訳の違いは明らかに、底本の違いであろう。

ただし、こまったことに(google) では「72」と自動翻訳される

@最初は12人(9:1)次に70人、最後にすべての弟子に対して
(マタイ28:18)

10:2 そして彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。

送ってくださるようには=◀ 1544. Ekballo(エクバーロ) 81回▶ 追い出す。無理やり持っていく

これは、自分のものにと働き手が送られるようにという御言葉ではない。

マタ 7:22 にあるように悪霊を「追い出す」という意味の言葉

(K J V) send forth 力づくで送るというニュアンスがありますね。

祈りなさい=◀ 1189.(デオマイ) deomai 22回▶ 祈る、お願いする、懇願する

10:3 さあ、行きなさい。いいですか。わたしがあなたがたを遣わすのは、狼の中に子羊を送り出すようなものです。

10:4 財布も袋も持たず、履き物もはかずに行きなさい。道でだれにもあいさつしてはいけません。

10:16 あなたがたに耳を傾ける者は、わたしに耳を傾け、あなたがたを拒む者は、わたしを拒むのです。わたしを拒む者は、わたしを遣わされた方を拒むのです。」

マタ 10:40 あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのです。

10:9 そして、その町の病人を癒やし、彼らに『神の国があなたがたの近くに

癒やし= ◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

10:17 さて、七十二人が喜んで帰って来て言った。「主よ。あなたの御名を用いると、悪霊どもでさえ私たちに服従します。」

七十二人 = 10 : 3 で遣わされた人たち

七十二人 = (改 2)(TR)(KJV)(NAS) 70 人、(NIV)(ESV) 72 人

七十二人 = ◀ 1440. hebdomékonta (ヘブダメカンタ) 5 回 ▶ (HUB)(BLB) 「70」の意味

(Hub)では「hebdomékonta duo」とあるので翻訳の違いは明らかに、底本の違いであろう。

ただし、こまったことに(google) では「72」と自動翻訳される

10:18 イエスは彼らに言われた。「サタンが稲妻のように天から落ちるのを、わたしは見ました。

@サタン=強い人

10:19 確かにわたしはあなたがたに、蛇やサソリを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けました。ですから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。

10:20 しかし、霊どもがあなたがたに服従することを喜ぶのではなく、あなた

がたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」

@この言葉の意味は救いが大切でしるしや悪霊の追い出しが重要でないということではない。それらの事は御言葉の宣言とともに当然ついてくるものであり、普通のことである。もっとも大きな奇跡は救いである。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

みこころにかなったことでした。=あなたの前に喜ばしいこと

みこころ=◀ 2107. eudokia (ユダキア) 9回▶(N)よろこばしいこと、親切な意図、喜び、善、願い

ほめたたえる=◀ 1843. exomologeó (エクサモロゲオ) 10回▶同意する、告白する、ほめたたえる

喜びにあふれて=◀ 21. agalliaó (アガリアオ) 11回▶ rejoice greatly(NAS)

マタ 5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなた

はこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

ヨハ 5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で大いに喜ぼうとしました。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

使 2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

使 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

第1ペテ 1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、

第1ペテ 1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

第1ペテ 4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

黙 19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。

。

10:27

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

10:30 イエスは答えられた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下って行ったが、強盗に襲われた。強盗たちはその人の着ている物をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。

10:42 しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。それが彼女から取り上げられることはありません。」

11:1 さて、イエスはある場所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに言った。「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」

@他のミニストリー（伝道、解放、メッセージ）は見て学べるが、個人的にどうやって主と過ごすことができるかはわからないので弟子達は尋ねた。

11:11 あなたがたの中で、子どもが魚を求めているのに、魚の代わりに蛇を与えるような父親がいるでしょうか。

11:12 卵を求めているのに、サソリを与えるような父親がいるでしょうか。

11:13 ですから、あなたがたは悪い者であっても、自分の子どもたちには良いものを与えることを知っています。それならなおのこと、天の父はご自分に求める者たちに聖霊を与えてくださいます。」

@（ガラ 3:14）3:14 それは、アブラハムへの祝福がキリスト・イエ

スによって異邦人に及び、私たちが信仰によって約束の御霊を受け
るようになるためでした。

@ (ヨハネ 3:34) 3:34 神が遣わした方は、神のことばを語られる。
神が御霊を限りなくお与えになるからである。

別訳) 御霊を量って与えない。

11:21 強い者が十分に武装して自分の屋敷を守っているときは、その財産は無事です。

無事 = ◀ 1515. eiréné (アイレネ) 92 回 ▶ 平和 平安

(へ) シャローム

11:22 しかし、もっと強い人が襲って来て彼に打ち勝つと、彼が頼みにしていた武具を奪い、分捕り品を分けます。

11:23 わたしに味方しない者はわたしに敵対し、わたしとともに集めない者は散らしているのです。

11:24 汚れた霊は人から出て行くと、水のない地をさまよって休み場を探します。でも見つからず、『出て来た自分の家に帰ろう』と言います。

11:25 帰って見ると、家は掃除されてきちんと片付いています。

11:26 そこで出かけて行って、自分よりも悪い、七つのほかの霊を連れて来て、入り込んでそこに住みつきます。そうすると、その人の最後の状態は、初めよりも悪くなるのです。」

11:27 イエスがこれらのことを話しておられると、群衆の中から、ある女が声をあげてイエスに言った。「あなたを宿した胎、あなたが吸った乳房は幸いで

す。」

11:28 しかし、イエスは言われた。「幸いなのは、むしろ神のことばを聞いて
それを守る人たちです。」

11:31 南の女王が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし見なさい。ここにソロモンにまさるものがあります。

。 11:37 イエスが話し終えられると、一人のパリサイ人が、自分の家で食事をしていただきたい、とお願いした。そこでイエスは家に入って、食卓に着かれた。

着かれた = ◀ 377. *anapító* (アナペット) 12 回 ▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

聖書の中では、食事のために身を寄りかかる意味のみとして使用されている。例外は、野外での給食の時に「座る」と訳されるが、それも食事の時と理解するならば、そうである、ちなみに一般的な意味での「座る」は ◀ 2523. *kathizó* (カティゾ) 46 回 ▶ である。

11:42 だが、わざわざだ、パリサイ人。おまえたちはミント、うん香、あらゆる野菜の十分の一を納めているが、正義と神への愛をおろそかにしている。十分の一もおろそかにしてはいけないが、これこそしなければならないことだ。

愛 = ◀ 26. *agapé* (アガペ) 116 回 ▶ (N) 愛、真の愛

。 @愛や公議は大切だが 10 分の 1 をささげることをやめていいわけではない。

11:43 わざわいだ、パリサイ人。おまえたちは会堂の上席や、広場であいさつされるのが好きだ。

好きだ = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する

似たような文章でフィレオが使用されている。

マタ 6:5 また、祈るとき偽善者たちのようであってははいけません。彼らは人々に見えるように、会堂や大通りの角に立って祈るのが好きだからです。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受けているのです。(フィレオ)

マタ 23:6 宴会では上座を、会堂では上席を好み、(フィレオ)

ルカ 12:4 わたしの友であるあなたがたに言います。からだを殺しても、その後はもう何もできない者たちを恐れてはいけません。

12:12 言うべきことは、そのときに聖霊が教えてくださるからです。」

ルカ 12:24 鳥のことをよく考えなさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、納屋も倉もありません。それでも、神は養っていただきます。あなたがたには、その鳥よりも、どんなに大きな価値があることでしょう。

鳥 (カラス) = ◀ 2876. Korax (カラックス) 1 回 ▶ ワタリガラス、カラス

よく考えなさい = ◀ 2657. Katanoeó (カタノエオ) 14 回 ▶ (V) 注意を払う、認識する、識別する、気が付く

12:32 小さな群れよ、恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えてくださるのです。

喜んで=神の御心

喜んで=◀ 2106. eudokeó (イダケオ) 21回▶

御国を与えてくださるのです。=(TR) 御国を与えてくださるのをよしとされたのですから。

(KJV) for it is your Father's good pleasure to give you the kingdom.

12:37 帰って来た主人に、目を覚ましているのを見てもらえるしもべたちは幸いです。まことに、あなたがたに言います。主人のほうが帯を締め、そのしもべたちを食卓に着かせ(347)、そばに来て給仕してくれます。

食卓に着かせ=◀ 347. anaklinó (アナクリノ) 6回▶横たえる、寝転がる。食卓に着く(改4) マタ 8:11、ルカ 12:37、13:29)

12:46 そのしもべの主人は、予期していない日、思いがけない時に帰って来て、彼を厳しく罰し、不忠実な者たちと同じ報いを与えます。

厳しく罰し=◀ 1371. dichotomeó (ディアハタメオ) 2回▶二つに切る、厳しくしかる (マタイ 24:51),

ルカ 12:46

12:47 主人の思いを知りながら用意もせず、その思いどおりに働きもしなかったしもべは、むちでひどく打たれます。

12:48 しかし、主人の思いを知らずにいて、むち打たれるに値することをしたしもべは、少ししか打たれません。多く与えられた者はみな、多くを求められ、多く任された者は、さらに多くを要求されます。

12:49 わたしは、地上に火を投げ込むために来ました。火がすでに燃えていたらと、どんなに願っていることでしょう。

12:50 わたしには受けるべきバプテスマがあります。それが成し遂げられるまで、わたしはどれほど苦しむことでしょう。

受けるべき＝◀ 907. baptizó (バプテイゾ) 81回▶ 浸す、沈める、洗礼をさ
ずける。

バプテスマ＝◀ 908. baptisma (バプティスマ) 21回▶ 洗礼

私にはバプテスマすべきバプテスマがあります。

(KJV) But I have a baptism to be baptized with; and how am I straitened till it be accomplished!

。

■(火のバプテスマ)

マタ 3:11 私はあなたがたに、悔い改めのバプテスマを水で授けていますが、私の後に来られる方は私よりも力のある方です。私には、その方の履き物を脱がせて差し上げる資格もありません。その方は聖霊と火でああなたがたにバプテスマを授けられます。

マタ 20:22 イエスは答えられた。「あなたがたは自分が何を求めているのか分かっていません。わたしが飲もうとしている杯を飲むことができますか。」彼らは「できます」と言った。

マタ 26:39 それからイエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈られた。「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにではなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」

マル 10:38 しかし、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、自分が何を求めているのか分かっていません。わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることができますか。」

1 ペテ 4:1 キリストは肉において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。肉において苦しみを受けた人は、罪との関わりを断っているのです。
4:2 それは、あなたがたが地上での残された時を、もはや人間の欲望ではなく、神のみこころに生きるようになるためです。

■ 試練

申命記 8:2 あなたの神、【主】がこの四十年の間、荒野であなたを歩ませられたすべての道を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試し、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。
8:3 それで主はあなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの父祖たちも知らなかったマナを食べさせてくださった。それは、人はパンだけで生きるのではなく、人は【主】の御口から出るすべてのことばで生きるということを、あなたに分からせるためであった。

8:4 この四十年の間、あなたの衣服はすり切れず、あなたの足は腫れなかった。

8:5 あなたは、人がその子を訓練するように、あなたの神、【主】

があなたを訓練されることを知らなければならない。

ロマ 8:17 子どもであるなら、相続人でもあります。私たちはキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているのですから、神の相続人であり、キリストとともに共同相続人なのです。

1 ペテロ 1:7 試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。

1 ペテ 4:12 愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思ってははいけません。4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

12:56 偽善者たちよ。あなたがたは地と空の様子を見分けることを知っていながら、どうして「今の時代」を見分けようとしないのですか。

マタイ

16:2 イエスは彼らに答えられた。「夕方になると、あなたがたは『夕焼けだから晴れる』と言い、

16:3 朝には『朝焼けでどんよりしているから、今日は荒れ模様だ』と言います。空模様を見分けることを知っていながら、時のしるしを見分けることはできないのですか。

@時のしるし=この時代（ルカ 12：56）

16:4 悪い、姦淫の時代はしるしを求めます。しかし、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。」こうしてイエスは彼らを残

して去って行かれた。

13 : 1 ~ 5

13:1 ちょうどそのとき、人々が何人かやって来て、ピラトがガリラヤ人たちの血を、ガリラヤ人たちが献げるいけにえに混ぜた、とイエスに報告した。

13:2 イエスは彼らに言われた。「そのガリラヤ人たちは、そのような災難にあったのだから、ほかのすべてのガリラヤ人よりも罪深い人たちだったと思いませんか。

13:3 そんなことはありません。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。

13:4 また、シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいるだれよりも多く、罪の負債があったと思いませんか。

13:5 そんなことはありません。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。」

13 : 6 ~ 8 ぶどう園の番人

13:8 番人は答えた。『ご主人様、どうか、今年もう一年そのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥料をやってみます。』

第1ヨハネ 2:1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。しかし、もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなしてくださる方、義なるイエス・キリストがおられます。

第1テモテ 2:5 神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。

13:13 そして手を置かれると、彼女はただちに腰が伸びて、神をあがめた。

あがめる＝◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

13:14

癒す＝◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43 回▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

13:16 この人はアブラハムの娘です。それを十八年もの間サタンが縛っていたのです。安息日に、この束縛を解いてやるべきではありませんか。」

縛る＝◀ 1210. Deó(デオ) 43 回▶ 結ぶ、縛る、強いる、駆り立てる、禁止を宣言する、違法であると宣言する

解く＝◀ 3089. Luó(ルオ) 42 回▶ 解く、解放する、壊す、無効にする。

13:24 「狭い門から入るように努めなさい。あなたがたに言いますが、多くの人が、入ろうとしても入れなくなるからです。

狭い＝◀ 4728. Stenos(ステナース) 3 回▶ 狭い (マタ 7:13)(マタ 7:14)(ルカ 13:24)

この言葉は「うめき、ため息、深く息をする」◀ 4727. Stenazó (ステナツゾ) 6 回▶ の語源となったことば

マルコ 7:34 そして天を見上げ、深く息をして、その人に「エパタ」、すなわち「開け」と言われた。

13:29 人々が東からも西からも、また南からも北からも来て、神の国で食卓に着きます(347)。

食卓に着きます＝◀ 347. anaklinó (アナクリノ) 6 回▶ 横たえる、寝転がる。食卓に着く(改4) マタ 8:11、ルカ 12:37、13:29)

13:32 イエスは彼らに言われた。「行って、あの狐にこう言いなさい。『見なさい。わたしは今日と明日、悪霊どもを追い出し、癒やしを行い、三日目に働きを完了する。』

14:4 彼らは黙っていた。それで、イエスはその人を抱いて癒やし、帰された。
癒して=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶癒す 肉体の癒し

ルカ 14:10 招かれたなら、末席に行って座りなさい(377)。そうすると、あなたを招いた人が来て、『友よ、もっと上席にお進みください』と言うでしょう。そのとき、ともに座って(4873)いる皆の前で、あなたは誉れを得ることになります。

座りなさい=◀ 377. anapító (アナペット) 12回▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

座って==◀ 4873. sunakeimai (スナナケイマイ) 7回▶食卓に着く、列席する(マタ 14:9)

14:11 なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」

14:15 イエスとともに食卓に着いていた(4873)客の一人はこれを聞いて、イエスに言った。「神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう。」(食事をする=パンを食べる)

座って==◀ 4873. sunakeimai (スナナケイマイ) 7回▶食卓に着く、列席する(マタ 14:9)

14:25 さて、大勢の群衆がイエスと一緒に歩いていたが、イエスは振り向いて彼らに言われた。

14:26 「わたしのもとの来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分のいのちまでも **憎ま**ないなら、わたしの弟子になることはできません。

14:27 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。

憎む = ◀ 3404. miseó 41 回 ▶ 憎む、嫌う、嫌う

14:28 あなたがたのうちに、塔を建てようとするとき、まず座って、完成させるのに十分な金があるかどうか、費用を計算しない人がいるでしょうか。

14:29 計算しないと、土台を据えただけで完成できず、見ていた人たちはみなその人を嘲って、

14:30 『この人は建て始めたのに、完成できなかった』と言うでしょう。

14:31 また、どんな王でも、ほかの王と戦いを交えようと出て行くときは、二万人を引き連れて向かって来る敵を、一万人で迎え撃つことができるかどうか、まず座ってよく考えないでしょうか。

14:32 もしできないと思えば、敵がまだ遠くに離れている間に、使者を送って講和の条件を尋ねるでしょう。

14:33 そういうわけで、自分の財産すべてを捨てなければ、あなたがたはだれも、わたしの弟子になることはできません。

15:2 すると、パリサイ人たち、律法学者たちが、「この人は罪人たちを受け入れて、一緒に食事をしている」と文句を言った。

一緒に食事をしている = ◀ 4906. sunesthió(スンシオ) 5 回 ▶ 一緒に食べる

@ 誰かと一緒に食べることが強調されている単語

15:3 そこでイエスは、彼らにこのようなたとえを話された。

@ 3つのたとえ話によって主は回復の神であることを語られた。

Relationship&Fellowship

15:4 「あなたがたのうちのだれかが羊を百匹持っていて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を野に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。

15:7 あなたがたに言います。それと同じように、一人の罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人のためよりも、大きな喜びが天にあるのです。

15:8 また、ドラクマ銀貨を十枚持っている女の人が、その一枚をなくしたら、明かりをつけ、家を掃いて、見つけるまで注意深く捜さないでしょうか。

@銀貨=声を上げられない、羊も、息子も助けを求められるし、自分の意思で帰ることもできるのに。

@銀貨=失われた能力（タレント）。お金には額面がある、それはすなわちポテンシャルをあらわす。

@女の人=教会（2列4：5）つきないつぼの奇跡

15:9 見つけたら、女友だちや近所の女たちを呼び集めて、『一緒に喜んでください。なくしたドラクマ銀貨を見つけたから』と言うでしょう。

15:12 弟のほうか父に、『お父さん、財産のうち私がいただく分を下さい』と言った。それで、父は財産を二人に分けてやった。

15:17 しかし、彼は我に返って言った。『父のところには、パンのあり余っている雇い人が、なんと大勢いることか。それなのに、私はここで飢え死にしようとしている。』

我に返って=(ギ)Eis heauton (1519 アイス・1438 ヘアトゥー)= (英) to himself
@この部分がメタノイアという教えは間違い

15:25 ところで、兄息子は畑にいたが、帰って来て家に近づくと、音楽や踊りの音が聞こえてきた。

15:26 それで、しもべの一人を呼んで、これはいったい何事かと尋ねた。

15:27 しもべは彼に言った。『あなたのご兄弟がお帰りになりました。無事な姿でお迎えしたので、お父様が、肥えた子牛を屠られたのです。』

15:28 すると兄は怒って、家に入ろうともしなかった。それで、父が出て来て彼をなだめた。

15:29 しかし、兄は父に答えた。『ご覧ください。長年の間、私はお父さんにお仕えし、あなたの戒めを破ったことは一度もありません。その私には、友だちと楽しむようにと、子やぎ一匹下さったこともありません。

15:30 それなのに、遊女と一緒にお父さんの財産を食いつぶした息子が帰って来ると、そんな息子のために肥えた子牛を屠られるとは。』

そんな息子=(ギ)(改2)あなたの息子 huios sou(ウイヤス・ソウ(ショウ))

◀ 5207. huios ▶息子 ◀ 4771. su ▶あなた

@弟の生活ぶりを知っていた。父も知っていたことでしょう。

父は息子が死に瀕しているのを知って心を痛めて帰りを待っていた。

15:31 父は彼に言った。『子よ、おまえはいつも私と一緒にいる。私のものは全部おまえのものだ。

15:32 だが、おまえの弟は死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのは当然ではないか。』

@兄の10の間違い 1、奉仕をするが主とともにいない (:25) 兄息子は畑

にいたが 2、直接はなしをしようとしなくて別の人を求めた (:26) しもべのひとりと呼んで 3、喜びを嫌う宗教的な霊 (:26) これはいったい何事か 4、間違っただ情報 (:27) 無事な姿をお迎えした 5、苦い根 (:28) 兄はおこって 6、機会を逃した (:28) 家にはいろいろともしなかつた 7、子であることを忘れた (:29) おとうさんに仕え 8、 (:29) 戒めを破ったことは一度もありません 9、批判、告発 (:30) それなのに 10、自分がかかわろうとしない (:30) あなたの息子のため。

16:1 イエスは弟子たちに対しても、次のように語られた。「ある金持ちに一人の管理人がいた。この **管理人** が主人の財産を無駄遣いしている、という訴えが主人にあった。

管理人 (1 コリント 4 : 2) (1 ペテロ 4 : 10)

16:2 主人は彼を呼んで言った。『おまえについて聞いたこの話は何なのか。会計の報告を出しなさい。もうおまえに、管理を任せておくわけにはいかない。』

16:3 管理人は心の中で考えた。『どうしよう。主人は私から管理の仕事を取り上げようとしている。土を掘る力はないし、物乞いをするのは恥ずかしい。』

16:4 分かった、こうしよう。管理の仕事をやめさせられても、人々が私を家に迎えてくれるようにすればよいのだ。』

16:5 そこで彼は、主人の債務者たちを一人ひとり呼んで、最初の人に、『私の主人に、いくら借りがありますか』と言った。

16:6 その人は『油百バテ』と答えた。すると彼は、『あなたの証文を受け取り、座ってすぐに五十と書きなさい』と言った。

(1) 主人の債務者たちとは、小作農であろう。(中川健一)

①主人に収穫量の中からある歩合を払うことになっている。

②収穫期までは、支払う必要はない。

③管理人は、負債を減らしてやれば将来自分を雇ってくれるだろう

うと考えた。

(2) 最初の者

①油 100 バテ → 50 バテ

②バテとは、「娘」。一人の少女が運べる水の量。

③1 バテは、約 8.5 ガロン (約 32 リットル)

④100 バテは、約 3,200 リットル

⑤オリーブの木 150 本分 (1000 デナリに相当する)

⑥この人は、現代の貨幣価値で約 500 万円免除された。

16:7 それから別の人に、『あなたは、いくら借りがありますか』と言うと、その人は『小麦百コル』と答えた。彼は、『あなたの証文を受け取り、八十と書きなさい』と言った。

(1) 別の人 (中川健一)

①小麦 100 コル → 80 コル

②100 コルは、100 エーカーの収穫量 (2,500 デナリに相当する)

③この人もまた、約 500 万円免除された。

④免除された割合は異なるが、ほぼ同額が免除されたことになる。

(2) 両者ともに、かなり裕福な人である。

①それゆえ、将来雇ってもらえる可能性がある。

(3) この管理人には知恵がある。

①自分が手を染めるのではなく、負債者に修正させている。

* 負債者に罪を犯させている。

②書類上の変更なので、発覚の可能性がより低い。

③当時、干ばつの時には負債を減額し、名声を得る人が多くいた。

④もし主人が免除を取り消せば、面目を失くす可能性がある。

⑤古代世界では、奴隷が主人を出し抜くという物語が流布していた。

16:8 主人は、不正な管理人が賢く行動したのをほめた。この世の子らは、自分と同じ時代の人々の扱いについては、光の子らよりも賢いのである。

(1) 主人は、不正をほめたのではない。(中川健一)

①これは、悪い事を用いた良い教えである。

(2) 未信者（この世の子ら）と信者（光の子ら）との対比がある。

①主人は、管理人が抜け目なくやったことをほめたのである。

②この管理人は、物質を用いて、自分の将来の備えをしたのである。

@

この御言葉に対する理解が難しいのは、聖書を道德の書としてとらえているからです。

ここで言っていることは、仲介者についてと彼に与えられた権威についてです。

仲介者は借用証書を書き換えました。それは合法的なことでした。

それは彼に与えられた権威だったからです。

その説明だけだったら、やはりもやもやしたものが残ることでしょう。

主人に損害がかかっているのではと思われるからです。

しかし、そうとは限りません。

借金を免除したほうが得にあることがあるからです。

たとえば、ビジネスの才能があるのに、借金のために日々の支払いに追われて才能が発揮できない人がいたとします。そういう人に対してはさっさと自由にしてあげて、ビジネスパートナーとして共に稼いだほうが良いのです。ですから、管理人の判断は必ずしも損害を与えたというわけではありません。

この管理人に対して憤慨する人がいたら、キリスト教の歴史を振り返ってみたらいい。

どれだけ、神様の顔に泥を塗ったのか。16 世紀の大航海時代の植民地政策が良い例です。

結果的に、福音が広まり、世界の言語が英語とかスペイン語にまとめられました。

そうでなければ、たとえばメキシコなんかは、公用語は定められていないが、事実上の公用語はスペイン語（メキシコ・スペイン語）であり、先住民族の 65 言語（ナワトル語、サポテカ語、マヤ語など）も政府が認めている。世界最大のスペイン語人口を擁する国家である。

ミャンマーの公用語はいくつありますか？

5,142 万人である。このうちビルマ族が約 70% を占めると言われている。ミャンマー政府によると、ミャンマー国内に住む民族の数は、ビルマ族を含めて 135 種類となっている。政府が挙げる 135 民族

それを見て、神様がそのように計画した。これは御心なんだと言ってはいけません。

しかし、明らかなことは、人の不正や罪を用いて、神様が益と変えてくださった。

その神様の御業があまりにも素晴らしいので、あたかも御心であったかのようです。

この不正の管理人がしたこともそうです。

主人がほめたのは、自分に与えられた権威を持ちいて

16:9 わたしはあなたがたに言います。不正の富で、自分のために友をつくりなさい。そうすれば、富がなくなったとき、彼らがあなただがたを永遠の住まいに迎えてくれます。

不正=

富がなくなったとき=(ギ)eklipse = ◀ 1587. ekleipó (エクライポウ) 4回▶
なくなる(ルカ 16:9、22:32)、

失う、尽きる(ヘブ 1:12)

(ギ)では「富」という言葉はなく、指示代名詞はなく、あえていえば「それ」。

ですから、訳し方によっては「あなたが死んだとき」とも訳せる。

(中川健一) <https://message-station.net/episode/1115/>

(KJV) when ye(you) fail,

不正の富=(KJV) mammon of unrighteousness (マモンという言葉はアラム語)

@これは不正をすることを奨励しているわけではない。

二言でいうなら (1) 将来のための準備をなさい。(2) この世の富を用いても。

16:10 最も小さなことに忠実な人は、大きなことにも忠実であり、最も小さなことに不忠実な人は、大きなことにも不忠実です。

16:11 ですから、あなたがたが不正の富に忠実でなければ、だれがあなただがた

に、まことの富を任せるでしょうか。

不正の富＝（ラビ用語）意味は「この世の富」

まことの富＝神からの油注ぎ

16:12 また、他人のものに忠実でなければ、だれがあなたがたに、あなたがた自身のもを持たせるでしょうか。

16:13 どんなしもべも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることとなります。あなたがたは、神と富とに仕えることはできません。」

①忠実 1) 現実において＝ 日常のあかし
2) 小さいもの＝ ミニストリーのための退職ではなく、働きの拡大のためにやめる
3) 他人のもの＝ 牧師を助けるなら我々の道は開かれる

②富＝（アラム語）マモン＝今日「お金を愛させる悪霊の名」で知られている。

愛する＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回▶愛する、真の愛で愛する

ルカ 16:18 だれでも妻を離縁して別の女と結婚する者は、姦淫を犯すことになり、夫から離縁された女と結婚する者も、姦淫を犯すことになります。

③（別訳）「だれでも、ほかの女と結婚する為に、妻を離別する者は、」

④ヘブライ語の「ヴェ」は「そして」を意味するが、そのほかに「～するため」という意味がある

16:20 その金持ちの門前には、**ラザロ**という、できものだらけの貧しい人が寝ていた(906)。

寝ていた = ◀ 906. balló (バロー) 124 回 ▶ 投げる、入れる

ラザロ = ◀ 2976. Lazaros (ラザラス) 15 回 ▶ 人名、意味は「神は助ける」

◀ 461. Eliezer (אֱלִיעֶזֶר) 14 回 ▶

16:20 その金持ちの門前には、**ラザロ**という、できものだらけの貧しい人が寝ていた。

ラザロ = ◀ 2976. Lazaros (ラザラス) 15 回 ▶ Lazarus = "whom God helps" (a form of the Hebrew name Eleazar)

ヘブライ語では ◀ 499. (אֱלִיעֶזֶר) Elazar (エラザル) 72 回 ▶ エリエゼル

16:22 しばらくして、この貧しい人は死に、御使いたちによってアブラハムの懐に連れて行かれた。金持ちもまた、死んで葬られた。

@旧約の概念で見た天国とは、黄泉のパラダイスまでしか見えていなかった。ユダヤ人の天国の概念は永遠にアブラハムに抱かれること。

16:30 金持ちは言った。『**いいえ**、父アブラハムよ。もし、死んだ者たちの中から、だれかが彼らのところに行けば、彼らは悔い改めるでしょう。』

いいえ = プライド

17:5 使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増し加えてください。」

17:6 **すると**主は言われた。「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があれば、この桑の木に『根元から抜かれて、海の中に植われ』と言うなら、あなたがた

に従います。

@ これが、「信仰を増してください」という弟子たちの問いに対するイエスの答え

17:7 あなたがたのだれかのところに、畑を耕すか羊を飼うしもべがいて、そのしもべが野から帰って来たら、『さあ、こちらに来て、食事をしなさい』と言うのでしょうか。

食事をしなさい= ◀ 377. anapíptó (アナペット) 12回 ▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

17:8 むしろ、『私の夕食の用意をし、私が食べたり飲んだりする間、帯を締めて給仕しなさい。おまえはその後で食べたり飲んだりしなさい』と言うのではないのでしょうか。

17:9 しもべが命じられたことをしたからといって、主人はそのしもべに感謝するのでしょうか。

17:10 同じようにあなたがたも、自分に命じられたことをすべて行ったら、『私たちは取るに足りないしもべです。なすべきことをしただけです』と言いなさい。』

@信仰→僕の心→信仰の増大、百人隊長（ルカ 7:9）はイスラエルの信仰＝けんそん、へりくだり

17:14 イエスはこれを見て彼らに言われた。「行って、自分のからだを祭司に見せなさい。」すると彼らは行く途中できよめられた。

きよめられた=(改2) (間違い) いやされた

きよめられた= ◀ 2511. katharizó (カタリゾ) 31回 ▶ きよめる (宗教的に) (文

字通り清くする)

17:15 そのうちの一人は、自分が癒やされたことが分かると、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、

癒やされた=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶ (肉体を) 癒す (救いという意味はない)

ほめたたえる=◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

17:16 イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリア人であった。

@ 1) 引き返し、2) ひれ伏し、3) 感謝した

17:17 すると、イエスは言われた。「十人きよめられたのではなかったか。九人はどこにいるのか。

きよめられた=◀ 2511. katharizó (カタリゾ) 31回▶ きよめる(宗教的に)(文字通り清くする)

17:18 この他国人のほかに、神をあがめるために戻って来た者はいなかったのか。」

17:19 それからイエスはその人に言われた。「立ち上がって行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」

救った=(改2)直した (ベニーヒン) 不具の部分が再生した

救った=◀ 4982. sózó 108回▶ 救う、癒す、保存する、救助する。

@@ルカ 21:5~36 にも終末の描写があります。

17:21 『見よ、ここだ』とか、『あそこだ』とか言えるようなものではありません。見なさい。神の国はあなたがたのただ中にあるのです。」

17:26 ちょうど、ノアの日に起こったのと同じことが、人の子の日にも起こります。

17:27 ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていましたが、洪水が来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。

17:34 あなたがたに言いますが、その夜、同じ寝床で人が二人寝ていると、一人は取られ、もう一人は残されます。

寝ていると=◀ 1510. eimi (エイミ) 2479 回▶です。 be 動詞

17:37 弟子たちが、「主よ、それはどこで起こるのですか」と言うと、イエスは彼らに言われた。「**死体**のあるところ、そこには禿鷹が集まります。」

死体=◀ 4983. Sōma(ソマ) 142 回▶身体、肉体、(キリストの)身体 (改4)では「からだ」

18:1-6

18:1 いつでも祈るべきで、失望してはいけないことを教えるために、イエスは弟子たちにたとえを話された。

18:2 「ある町に、神を恐れず、人を人とも思わない裁判官がいた。

18:3 その町に一人のやもめがいたが、彼のところにやって来ては、『私を訴える人をさばいて、私を守ってください』と言っていた。

18:4 この裁判官はしばらく取り合わなかったが、後になって心の中で考えた。『私は神をも恐れず、人を人とも思わないが、

18:5 このやもめは、うるさくて仕方がないから、彼女のために裁判をしてやることにしよう。そうでないと、ひっきりなしにやって来て、私は疲れ果ててしまう。』

18:6 主は言われた。「不正な裁判官が言っていることを聞きなさい。

18:7 まして神は、昼も夜も神に叫び求めて (★3114) いる、選ばれた者たちのためにさばきを行わないで、いつまでも放っておかれることがあるでしょうか。

@ 訳出されていない言葉 (★3114) 「忍耐する」 = ◀ 3114. makrothumeó (マクラスメオ) 10 回 ▶ (V) 忍耐する(ヘブ 6:15)、

寛容である(1 コリ 13:4)

。

ルカ 18:7 まして神は、昼も夜も神に叫び求めて (★3114) いる、選ばれた者たちのためにさばきを行わないで、いつまでも放っておかれることがあるでしょうか。

第1 コリ 13:4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。

ヘブル 6:15 このようにして、アブラハムは忍耐の末に約束のものを得たのです。

18:11 パリサイ人は立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私がほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でないこと、あるいは、この取税人のようでないことを感謝します。』

18:13 一方、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神様、罪人の私をあわれんでください。』

18:17 まことに、あなたがたに言います。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」

18:22 イエスはこれを聞いて、彼に言われた。「まだ一つ、あなたに欠けていることがあります。あなたが持っている物をすべて売り払い、貧しい人たちに分けてやりなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」

マルコ 10:21 では「イエスはこれを聞いて、いつくしんで彼に言われた。」

18:24 イエスは彼が非常に悲しんだのを見て、こう言われた。「富を持つ者が神の国に入るのは、なんと難しいことでしょう。」

富を持つもの = (TR)版のマルコ 10 : 24 は「富に頼るものが」

ただし、マタイ 19 : 23 はるかとは大体同じで単に「金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。」

18:25 金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうが易しいのです。」

18:27 イエスは言われた。「人にはできないことが、神にはできるのです。」

18:28 すると、ペテロが言った。「ご覧ください。私たちは自分のものを捨てて、あなたに従って来ました。」

18:29 イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。だれでも、神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子どもを捨てた者は、

別の箇所にも似た言葉がある。

@こちらは「憎む」という表現がされている。

ルカ 14:25 さて、大勢の群衆がイエスと一緒に歩いていたが、イエスは振り向いて彼らに言われた。

14:26 「わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分のいのちまでも憎まないなら、わたしの弟子になることはできません。

14:27 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。

憎む = ◀ 3404. miseó 41 回 ▶ 憎む、嫌う、嫌う

@ルカには「妻」がある

@ (マルコ 10 : 29) には福音の為にが含まれる

マルコ 10:29 イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子ども、畑を捨てた者は、

捨てた = ◀ 863. aphíemi (アフィエミ) 146 回 ▶ 行かせる、手放す

マタイ 3:15 しかし、イエスは答えられた。「今はそうさせてほしい。このようにして正しいことをすべて実現することが、わたしたちにはふさわしいのです。」そこでヨハネは言われたとおりにした。

マタイ 4:11 すると悪魔はイエスを離れた。そして、見よ、御使いたちが近づいて来てイエスに仕えた。

マタイ 4:20 彼らはすぐに網を捨ててイエスに従った。

マタイ 5:24 ささげ物はそこに、祭壇の前に置き、行って、まずあなたの兄弟と仲直りをしなさい。それから戻って、そのささげ物を献げなさい。

マタイ 6:12 私たちの負い目を赦してください。私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦します。

マタイ 19:29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。(捨てた=手放す)

18:30 必ずこの世で、その何倍も受け、来たるべき世で、永遠のいのちを受けます。

18:41 「わたしに何をしてほしいのですか。」するとその人は答えた。「主よ、目が見えるようにしてください。」

18:42 イエスは彼に言われた。「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを救いました。」

救いました=◀ 4982. szózó 108 回▶ 救う、癒す、保存する、救助する。

救いました=(改 2)直した

18:43 その人はただちに見えるようになり、神をあがめながらイエスについて行った。これを見て、民はみな神を賛美した。

◀ 1392. doxazó (ドクサヅ) 6 2 回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる (ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

賛美 = ◀ 136. ainos (アイナス) 2回 ▶ (N) 賛美、誉(マタイ 21:16)

19:2 するとそこに、ザアカイという名の人がいた。彼は取税人のかしらで、金持ちであった。

ザアカイ = ◀ 2195. Zakchaios (ザハヤス) ▶ 人名。「純粹」という意味
ヘブライ語名は ◀ 2140. Zakkay (צַקַּי) (2回) ▶ (エズラ 2:9)(ネヘミヤ 7:14)ザカイ (ザカイ族として)

その原語は ◀ 2141. zakak (צַקַּק) (4回) ▶

ヨブ 9:30 たとえ私が雪の水で身を洗っても、灰汁で手を清めても、

ヨブ 15:15 見よ、神はその聖なる者たちさえ信頼なさない。天も神の目には清くない。

ヨブ 25:5 ああ、神の目には月さえ輝きがなく、星も清くない。

哀 4:7 その聖別された者たちは雪よりも清く、乳よりも白かった。そのからだは珊瑚よりも赤く、容姿はサファイアのようにであった。

19:8 しかし、ザアカイは立ち上がり、主に言った。「主よ、ご覧ください。私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれかから脅し取った物があれば、四倍にして返します。」

律法の定めでは返還 + 20%追加だが、彼は自由意志で、返還 + 300%にした。

レビ 5:16 その人は、その聖なるものに関して罪に陥っていたことの償いをする。それにその五分の一を加えて、祭司に渡す。祭司は、その代償のささげ物の雄羊をもって彼のために宥めを行い、彼は赦される。

19:9 イエスは彼に言われた。「今日、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。

ガラテア 3:6 「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」とあるとおりです。

3:7 ですから、信仰によって生きる人々こそアブラハムの子である、と知りなさい。

3:8 聖書は、神が異邦人を信仰によって義とお認めになることを前から知っていたので、アブラハムに対して、「すべての異邦人が、あなたによって祝福される」と、前もって福音を告げました。

3:9 ですから、信仰によって生きる人々が、信仰の人アブラハムとともに祝福を受けるのです。

ローマ 4:16 そのようなわけで、すべては信仰によるのです。それは、事が恵みによるようになるためです。こうして、約束がすべての子孫に、すなわち、律法を持つ人々だけでなく、アブラハムの信仰に倣う人々にも保証されるのです。アブラハムは、私たちすべての者の父です。

19:10 人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。

エゼキエル 34:11 まことに、【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは自分でわたしの羊の群れを捜し求め、これを捜し出す。

19:22 主人はそのしもべに言った。『悪いしもべだ。私はおまえのことばによって、おまえをさばこう。おまえは、私が厳しい人間で、預けなかったものを取り立て、蒔かなかったものを刈り取ると、分かっていたというのか。』

19:35 二人はその子ろばをイエスのもとに連れて来た。そして、その上に自分たちの上着を掛けて、イエスをお乗せした。

@マタイ 21 : 7) ロバの母と子

@主の臨在を運ぶ牛 (1サム 6 :) →後に燃やされた (1サム 6 : 14)

19:37 イエスがいよいよオリーブ山の下りにさしかかると、大勢の弟子たちはみな、自分たちが見たすべての力あるわざについて、喜びのあまりに大声で神を賛美し始めて、

賛美する = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8回 ▶ 賛美する

19:44 そしておまえと、中におまえの子どもたちを地にたたきつける。彼らはおまえの中で、一つの石も、ほかの石の上に積まれたまま残してはおかない。それは、神の訪れの時を、おまえが知らなかったからだ。」

ルカ 19:46 彼らに言われた。「『わたしの家は祈りの家でなければならない』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣』にした。」

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ) 37回 ▶ (N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

20:20 さて、機会を狙っていた彼らは、義人を装った回し者を遣わした。イエスのことばじりをとらえて、総督の支配と権威に引き渡すためであった。

20:36 彼らが死ぬことは、もうあり得ないからです。彼らは御使いのようであり、復活の子として神の子なのです。

ルカ 17:21~37 にも終末の描写があります。

20:46 「律法学者たちには用心しなさい。彼らは長い衣を着て歩き回ることが好きで、広場であいさつされることや会堂の上席、宴会の上座を**好みます**」。

好き = ◀ 2309. theló (セロ) 209 回 ▶ 願う、求める、好む、
好みます = フィレオ

(似た文章でアガペが使用されている箇所あり)

ルカ 11:43 わざわいだ、パリサイ人。おまえたちは会堂の上席や、広場であいさつされるのが好きだ。(★アガペ)

21:4 あの人たちはみな、あり余る中から献金として投げ入れたのに、この人は乏しい中から、持っていた生きる手立てのすべてを投げ入れたのですから。」

@@ マタイ 24:1~44 に似た終末の描写があります。

21:7 そこで彼らはイエスに尋ねた。「先生、それでは、いつ、そのようなことが起こるのですか。それが起こるときのしるしは、どのようなものですか。」

ルカ 17:22 イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが、人の子の日を一日でも見たいと願っても、見られない日が来ます。

17:23 人々は『見よ、あそこだ』とか、『見よ、ここだ』とか言いますが、行ってはいけません。追いかけてもいけません。

21:11 **大きな地震**があり、方々に**飢饉**や**疫病**が起こり、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れます。

@大地震、疫病、ききん、これらは今日人工的に作り出せる災害であ

る。

21:13 それは、あなたがたにとって証しをする機会となります。

21:15 あなたがたに反対するどんな人も、対抗したり反論したりできないことばと知恵を、わたしが与えるからです。

ルカ 12:12 言うべきことは、そのときに聖霊が教えてくださるからです。」

21:20 しかし、エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、そのときには、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。

@ 40年後に成就:メシヤを信じたユダヤ人はヨルダンのペラに逃げた。

21:24 人々は剣の刃に倒れ、捕虜となって、あらゆる国の人々のところに連れて行かれ、異邦人の時が満ちるまで、エルサレムは異邦人に踏み荒らされま

@ 異邦人の時の終わるまで 1948年=建国、

1950年=西エルサレムを首都にする

1967年=東エルサレムの獲得

21:32 まことに、あなたがたに言います。すべてのことが起こるまで、この時代が過ぎ去ることは決してありません。

21:33 天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。

21:36 しかし、あなたがたは、必ず起こるこれらすべてのことから逃れて、人

の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈っていなさい。」

Watch ye therefore, and pray always, that ye may be accounted worthy to escape all these things that shall come to pass, and to stand before the Son of man.

(ギ)見張っていなさい、そして、すべてのカイロ(2540)において懇願しなさい

(1189) 。それは、これらの事から逃れることができる力を受けるように、また、人の子の前に立つことができるようになるために。

目を覚まして= ◀ 69. agrupneó (アグルプネオ) 4 回 ▶ (V) 目をさましている、見張る(ヘブル 13:17)

祈っていなさい= ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回 ▶ 祈る、お願いする、懇願する

懇願する

Ⅱコリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

22:6 ユダは承知し、群衆がいないときにイエスを彼らに引き渡そうと機会を狙っていた。

承知する＝◀ 1843. exomologeó (エクサモロゲオ) 10 回▶ 同意する、告白する、ほめたたえる

22:14 その時刻が来て、イエスは席に着かれ(377)、使徒たちも一緒に座った。

席に着かれ＝◀ 377. anapító (アナペット) 12 回▶ 横たえる、寄りかかる、食卓に着く、座る。ほぼすべて食事の意味

一緒に座った＝「座った」は補足（原文にはない）

22:17 そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの中で分けて飲みなさい。

感謝の祈りをささげて＝◀ 2168. Eucharisteó(ユ'ハリステオ) 38 回▶ 感謝する

22:18 あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。

@婚約式

ユダヤの習慣では、婚約式の最終日に花婿が花嫁にぶどう酒を出します。花嫁がそれを飲めば婚約が成立です。

しかし、花婿自身は飲みません。結婚するまで飲みません。(およそ1年間)

結婚の時は父が定めます。花婿は、花嫁と暮らす家を建てて準備し、父が良しと認めた時に結婚できます。

マタ 24:36 ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。

ルカ 22:18 あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わ

たしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

ヨハネ 14:3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

22:19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

感謝の祈りをささげ＝◀ 2168. Eucharisteó(ユ'ハリストオ) 38 回▶ 感謝する

22:20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。

@ 1、杯を取り、感謝。 2、パンを取り＝わたしのからだ。 3、杯も同じように、＝わたしの血、新しい契約

22:27 食卓に着く(345)人と給仕する者と、どちらが偉いでしょうか。食卓に着く(345)人ではありませんか。しかし、わたしはあなたがたの間で、給仕する者のようにしています。

食卓に着いている＝◀ 345. anakeimai (アナケマイ)14 回▶ 食卓に着く、←の意味で横になる(ヨハ 13:23)

@あなたがたが期待していることをしているのではなく、なすべきことをしています。

懇願する

第2コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

22:31 シモン、シモン。見なさい。サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

22:32 しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちをカづけてやりなさい。」

◀ 1189. deomai (デオマイ) 22 回 ▶ (V) 祈る、お願いする、懇願する(2コリ 8:4)、しきりに願う(ルカ 8:38)

22:44 イエスは苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのよ
うに地に落ちた。]

22:45 イエスが祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに行ってご覧になると、彼らは悲しみの果てに眠り込んでいた。

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ) 37 回 ▶ (N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

22:47 イエスがまだ話をしておられるうちに、見よ、群衆がやって来た。十二人の一人で、ユダという者が先頭に立っていた。ユダはイエスに口づけしよう
として近づいた。

口づけする = ◀ 5368. phileó (フィレオ) 25 回 ▶ 愛する、愛情を持った気づか

い、大切にする、キスする

22:50 そして、そのうちの一人が大祭司のしもべに切りかかり、右の耳を切り落とした。

22:51 するとイエスは、「やめなさい。そこまでにしなさい」と言われた。そして、耳にさわって彼を癒やされた。

癒やされた=◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶ (肉体を)癒す (救いという意味はない)

@切り落とされた耳が元にもどった。

23:4 ピラトは祭司長たちや群衆に、「この人には、訴える理由が何も見つからない」と言った。

23:7 ヘロデの支配下にあると分かると、イエスをヘロデのところへ送った。ヘロデもそのころ、エルサレムにいたのである。

23:12 この日、ヘロデとピラトは親しくなった。それまでは互いに敵対していたのである。

23:14 こう言った。「おまえたちはこの人を、民衆を惑わす者として私のところに連れて来た。私がおまえたちの前で取り調べたところ、おまえたちが訴えているような罪は何も見つからなかった。

23:26 彼らはイエスを引いて行く途中、田舎から出て来たシモンというクレネ人を捕まえ、この人に十字架を負わせてイエスの後から運ばせた。

田舎から出て来た=(協共) 畑から帰ってくるのを

他にこのように訳すものはない。かろうじて「field
から来た」はある。

23:27 民衆や、イエスのことを嘆き悲しむ女たちが大きな一群をなして、イエスの後について行った。

23:28 イエスは彼女たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣いてはいけません。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのために泣きなさい。

23:29 なぜなら人々が、『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来るのですから。

23:30 そのとき、人々は山々に向かって『私たちの上に崩れ落ちよ』と言い、丘に向かって『私たちをおおえ』と言い始めます。

23:31 **生木**にこのようなことが行われるなら、**枯れ木**には、いったい何が起ころうか。」

@生木=義人 枯れ木=悪人

(エゼキエル 20:47 ネゲブの森に言え。『【主】のことばを聞け。【神】である主はこう言われる。見よ、わたしはおまえのうちに火をつける。その火はおまえのうちの、すべての生木とすべての枯れ木を焼き尽くす。その燃える炎は消されず、南から北まで地の面すべてが焼かれる。

23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ、彼らをお赦しください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」彼らはイエスの衣を分けるために、くじを引いた。

23:39 十字架にかけられていた犯罪人の一人は、イエスをののしり、「おまえ

はキリストではないか。自分とおれたちを救え」と言った。

23:40 すると、もう一人が彼をたしなめて言った。「おまえは神を恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。

23:41 おれたちは、自分のしたことの報いを受けているのだから当たり前だ。だがこの方は、悪いことを何もしていない。」

23:42 そして言った。「イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」

@(TR) 23:42 そしてイエス様に言った。主よあなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」

23:43 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」

@十字架刑はとどめをさすわけではないので、普通2, 3日から5日ぐらい死ぬことができない。しかし悔い改めた彼はその日のうちにパラダイスにいた。

@救いに必要なもの。①悔い改め ②復活を信じる ③主を信じる
強盗は条件を満たした。

23:45 太陽は光を失っていた。また、神殿の幕は真二つに裂けた。

@へだての壁をとりのぞく (エペソ 2 : 4)

イザヤ 25:7 この山の上で、万民の上をおおうペールを、万国の上にかぶさる覆いを取り除き、

23:45 太陽は光を失っていた。すると神殿の幕が真ん中から裂けた。

23:47 百人隊長はこの出来事を見て、神をほめたたえ、「本当にこの方は正しい人であった」と言った。

ほめたたえる＝◀ 1392. doxazó (ドクサツ) 6 2回▶ 栄光を与える、あがめる、
ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

24:13 ところで、ちょうどこの日、弟子たちのうちの二人が、エルサレムから
六十スタディオン余り離れた、エマオという村に向かっていた。

24:16 しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスであることが分からなかつた。

イエスであることが分からなかった＝風貌が違っていたかもしれない。

イザヤ 53 章ではハンサムではなかったようだ。

イザヤ 53:2 彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。砂漠の地から
出た根のように。彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うよ
うな見栄えもない。

24:18 そして、その一人、クレオバという人がイエスに答えた。「エルサレム
に滞在していながら、近ごろそこで起こったことを、あなただけがご存じない
のですか。」

24:19 イエスが「どんなことですか」と言われると、二人は答えた。「ナザレ
人イエス様のことです。この方は、神と民全体の前で、行いにもことばにも力
のある預言者でした。

@イエスを預言者として信じるのはイスラム教徒の信仰レベルでし
かない。

24:27 それからイエスは、モーセやすべての預言者たちから始めて、ご自分につ
いて聖書全体に書いてあることを彼らに説き明かされた。

ゼカリヤ 9:9 娘シオンよ、大いに喜べ。娘エルサレムよ、喜び叫べ。見よ、あなたの王があなたのところに来る。義なる者で、勝利を得、柔和な者で、ろばに乗って。雌ろばの子である、ろばに乗って。

24:27 それからイエスは、モーセやすべての預言者たちから始めて、ご自分について聖書全体に書いてあることを彼らに説き明かされた。

民数記 21:9 モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上に付けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。

申命記 18:15 あなたの神、【主】はあなたのうちから、あなたの同胞の中から、私のような一人の預言者をあなたのために起こされる。あなたがたはその人に聞き従わなければならない。

イザヤ 7:14 それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

ダニエル 7:13 私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような方が天の雲とともに来られた。その方は『年を経た方』のもとに進み、その前に導かれた。

ミカ 5:2 「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

ゼカリヤ 9:9 娘シオンよ、大いに喜べ。娘エルサレムよ、喜び叫べ。見よ、あなたの王があなたのところに来る。義なる者で、勝利を得、柔和な者で、ろばに乗って。雌ろばの子である、ろばに乗って。

24:29 彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。

強く勧めた=◀ 3849. parabiazomai (パラビアズマイ) 2回▶ (V)自然に逆らう、強く勧める、無理にする

ルカ 24:29 彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。

使 16:15 そして、彼女とその家族の者たちがバプテスマを受けたとき、彼女は「私が主を信じる者だと思いでしたら、私の家に来てお泊まりください」と懇願し、無理やり私たちにそうさせた。

懇願し=3870 パラカレオ。 無理やりそうさせた=

24:32 そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明して下さった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」

24:39 わたしの手やわたしの足を見なさい。まさしくわたしです。わたしにさわって、よく見なさい。幽霊なら肉や骨はありません。見て分かるように、わたしにはあります。」

肉=◀ 4561. sarx (サルクス) 149回▶体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

24:42 そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、

(KJV) And they gave him a piece of a broiled fish, and of an honeycomb.

(TR 日本語訳)彼らは、焼いた魚の一切れと蜂蜜の巣を彼に渡した

(RV) 42 Entonces le dieron parte de un pez asado, y un panal de miel. (panal de miel = 蜂の巣)

24:47 その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』エルサレムから開始して、

24:48 あなたがたは、これらのことの証人となります。

@その名、、、証人です

43:10 あなたがたはわたしの証人、—【主】のことば—わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない。

24:50 それからイエスは、弟子たちをベタニアの近くまで連れて行き、手を上げて祝福された。

(TR) 弟子たちをベタニアまで連れて行き、

(改 2) 彼らをベタニヤまで連れて行き・・・24:51 そして祝福しながら、彼らから離れて行かれた。

(協共) 彼らをベタニヤまで連れて行き

@ベタニヤ＝ 悩むものの家の意味 = 昇天の地 (オリーブ山ではない)

(BLB) Bethany = "house of dates" or, "house of misery"

@使徒の働き 1 章に「オリーブ山から帰った」という記述はあるが、そこが昇天の地とは書いていない。

@手を上げて祝福

レビ 9:23 モーセとアロンは会見の天幕に入り、そこから出て来て民を祝福した。すると【主】の栄光が民全体に現れ、

9:24 火が【主】の前から出て来て、祭壇の上の全焼のささげ物と脂肪を焼き尽くした。民はみな、これを見て喜び叫び、ひれ伏した。

火が下った＝ペンテコステの型

@ベタニアの地

御言葉を慕う

ルカ 10:42 しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。それが彼女から取り上げられることはありません。」

よみがえり

ヨハネ 11:1 さて、ある人が病気にかかっていた。ベタニアのラザロである。ベタニアはマリアとその姉妹マルタの村であった。

まことの礼拝

ヨハネ 12:1 さて、イエスは過越の祭りの六日前にベタニアに来られた。そこには、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロがいた。

12:2 人々はイエスのために、そこに夕食を用意した。マルタは給仕し、ラザロは、イエスとともに食卓に着いていた人たちの中にいた。

12:3 一方マリアは、純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ取って、イエスの足に塗り、自分の髪でその足をぬぐった。家は香油の香りでいっぱいになった。

昇天

ルカ

24:50 それからイエスは、弟子たちをベタニアの近くまで連れて行き、手を上げて祝福された。

24:51 そして、祝福しながら彼らから離れて行き、天に上げられた。

ペンテコステ

ルカ 24:50 それからイエスは、弟子たちをベタニアの近くまで連れて行き、手を上げて祝福された。

レビ 9:23 モーセとアロンは会見の天幕に入り、そこから出て来て民を祝福した。すると【主】の栄光が民全体に現れ、

9:24 火が【主】の前から出て来て、祭壇の上の全焼のささげ物と脂肪を焼き尽くした。民はみな、これを見て喜び叫び、ひれ伏した。

24:51 そして、祝福しながら彼らから離れて行き、天に上げられた。

24:52 彼らはイエスを礼拝した後、大きな喜びとともにエルサレムに帰り、

◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60 回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語)
敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する

24:53 いつも宮にいて神をほめたたえていた。